



ベヘモトプス25周年

北海道博物館協会表彰

北海道のほとんどの博物館が加盟する北海道博物館協会は、道内の博物館に功績のあった個人・団体を毎年大会の際に表彰してきました。

今年6月30日に小樽市で開かれる第44回大会で、当博物館の前身ともいえる「旧足寄化石作業所」が表彰されることになりました。

足寄化石作業所は、矢吹勝家さん（南3条）・矢吹勝美さん（旭町1丁目）が発見したベヘモトプスなどの化石が足寄町に寄贈されたのを受け、クリーニングや復元の作業をおこなうために、1984年（昭和59年）に、足寄町公民館に設置されました。以来、13年間、発見者お二人や、江口健一郎さん（もと西町）を中心とする数名のスタッフにより、足寄動物化石群の研究保存活動の拠点として活動を進めてきました。現在足寄動物化石博物館に収蔵・展示されている資料の大部分は、化石作業所で整えられたものです。

今年は、矢吹さんが茂螺湾でベヘモトプスを発見して25年目にあたります。夏休み期間中には、足寄化石作業所の活動をふくめて、25年を振り返る企画を準備しています。お楽しみに。



開設2年目の化石作業所に松井 愈さん、木村方一さん、犬塚 則久さんから研究者を迎えて



ベヘモトプスの化石を検討する
矢吹勝家さん、
矢吹勝美さん、
江口健一郎さん。

青沼さん、赤間さん、
千葉さん、山本さん
らの顔も見えます。



文化財

天然記念物 湯の滝 温泉水の利用を停止

オンネトー湯の滝は、温泉水に含まれるマンガンイオンが、滝の斜面に生息する微生物によって酸化物質に変えられて沈殿するめずらしい場所で、平成12年に「オンネトー湯の滝マンガノ酸化物質生成地」として国の天然記念物に指定されました。

天然記念物指定の段階から、それまでに保護対策として設けられた湯溜まりや湖畔の施設で利用するための送水設備を取り除き、本来の自然の状態に早くもどすことが課題でした。このたび、町の方針として湯の滝のお湯の利用を全面的に停止することとなりました。施設撤去は関係機関と協議して進めますが、代替湯溜まりなどはすでに利用できなくなりました。

保存木 中足寄ヤマグワの補修

足寄町では、町の歴史を残す立木や植物として重要な樹木を保存木として指定し、保護しながら生涯学習等に活用してきました。

中足寄には「足寄発祥の地記念公園」にもとの足寄小学校開校時に記念植樹されたヤマグワが2本あります。

このたび、支えに使っていた支柱を新しいものに取り替えました。パークゴルフ場の中にあります。



2005あしよろ化石教室 雨にも負けず

あしよろ化石教室は、今年度も100名の登録者を迎え、6月12日から始まりました。

第1回は、茂螺湾のべへモトプス発掘現場の見学と螺湾川沿いの崖での化石採集の2本立てでおこなわれました。

この日はお天気が悪く、午後は雨に濡れながらの地層観察でしたが、幼児もふくめ、新たなべへモトプスの出現を期待(?)しながら、ハンマーをふるいました。

7月は、白糠町で3000万年前の貝化石を探す予定です。



休館日 || 6月28日 7月5日、12日、19日 7月26日～8月31日全日開館します

博物館の動き 6月・7月(館の行事や職員の動き、来館団体の一部、など)

6月	7月
21日 高文連十勝支部美術部会	1～3日 日本古生物学会(東京都)澤村
22日 町内複式校、女満別高校	5日 阿寒湖中 6日 川西中、磯分内小
23日 上士幌中、なかよし保育園	7日 鹿追中、川湯小、弥栄小
24日 網走向陽高校	8日 管内教育研究所研修会(ネイバル)澤村講演
25日 帯広市児童会館行事	10日 あしよろ化石教室3回
26日 釧路市職員退職者会、十勝学園、福平行政区	14日 弟子屈中 21日 阿寒湖小
29日 鶴居村連合小学校	24日 あしよろ化石教室4回
30日 虹別小、北海道博物館大会(小樽市)澤村	29日 大樹町学童保育所